

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式						
M3140101		臨床検査の基礎と疾病との関連 (Basic Clinical Laboratory Science and Disease)					生命健康科学コース専門分野		対面						
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語		担当形態						
必修	1	1	医学部先進医療科学科	前期	水5	日本語			オムニバス						
担当教員	氏名 加隈哲也、木村成志、竹内陽介、平川博文、泉寿彦、高野正幸、八尋隆明 E-mail kakuma@oita-u.ac.jp 内線 5033														
授業の概要	医学、医療、臨床検査の概要を学ぶと共に疾病との関連を理解する科目である。健康の概念から、医学の歴史、医学倫理、進歩する医療技術、先端医療、高齢化社会、緩和医療、チーム医療などの概要を修学し、医療人として基盤となるべき考え方、知識を身につけることを目標とする。さらに、疾病との関わりを理解するために「微生物と疾病の関連」「栄養と疾病の関連」「認知症に関する基礎知識(原因・中核症状・BPSD(行動・心理症状))・検査方法・診断・治療・予防など」を修学する。														
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7
目標1	栄養過多に関連する疾病について説明できる														
目標2	微生物や生理機能と疾病との関りを説明できる														
目標3	認知症の検査法について説明できる														
目標4	検査結果の解析と評価ができる														
目標5															
目標6															
目標7															
目標8															
目標9															
目標10															
各DPへの関連度(計10)							8					2			
授業の内容															
1	医学の歴史、医学倫理、医療技術の進歩														
2	先端医療、高齢化社会、緩和医療、チーム医療														
3	微生物と疾病の関連 1 微生物の分類・微細構造と機能														
4	微生物と疾病の関連 2 微生物の病原性と感染症														
5	生理機能と疾病の関連 1 神経、筋、感覚、運動														
6	生理機能と疾病の関連 2 循環、呼吸														
7	生理機能と疾病の関連 3 代謝・栄養・内分泌														
8	肥満症/メタボリックシンドローム														
9	肥満症の非薬物療法 / 認知行動療法														
10	糖尿病治療とチーム医療														
11	認知症の原因・中核症状・BPSD(行動・心理症状)														
12	認知症の検査・診断・治療・予防・患者心理と対応														
13	認知機能の評価尺度														
14	行動・心理症状の評価尺度														
15	総括(臓器別疾病の原因・症候と検査診断学)														
ラ イ ク ニ テ ン イ グ ブ	A:知識の定着・確認	A:穴埋め資料、小テスト、レポート				工 夫 そ の 他 の	Moodleを利用し、講義資料の提示を行い、予習・復習を推進する								
B:意見の表現・交換	B:グループによる発表														
C:応用志向	C:持続皮下自己血糖測定の実演														
D:知識の活用・創造															
授業時間外 学修の内容 と想定時間	準備学修	教科書、参考資料を用いた予習(11.5h)。													
	事後学修	レポートをグループ単位で作成させ、授業内容の習熟に努める(11.5h)。													
	想定時間合計	23													
教科書	教科書を指定しない														
参考書	最新 臨床医学講座 医療安全管理学第2版、医歯薬出版株式会社、2023年、ISBN978-4-263-22391-8 最新 臨床医学講座 臨床検査総合管理学第3版、医歯薬出版株式会社、2024年、ISBN978-4-263-22399-4 最新 臨床医学講座 保健医療福祉概論、医歯薬出版株式会社、2024年、ISBN978-4-263-22372-7 ほか														

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
		小テスト、レポート	20%									
	筆記試験	80%										
注意事項	レポートの提出が期末試験の受験資格となる											
備考	Moodleに講義資料があげられた場合には、コピーの上、あるいはパソコンを持参の上、受講すること											
リンク	URL											
担当教員の 実務経験の 有無												
教員の 実務 経験	加隈哲也、木村成志、平川博文、高野正幸、八尋隆明 医師、臨床検査技師											
実務経験を いかした教 育内容	臨床経験を活かした講義、血糖測定演習、アクティブラーニングを行う											